

第19回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所るぴなす

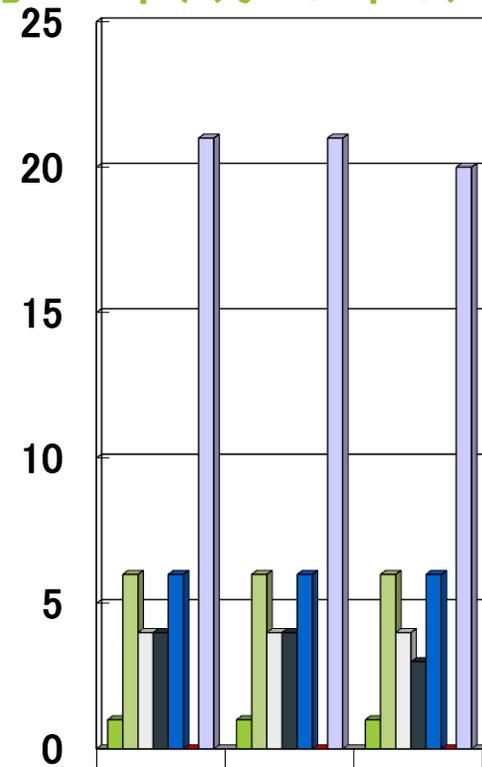
平成28年3月15日

第19回運営推進会議

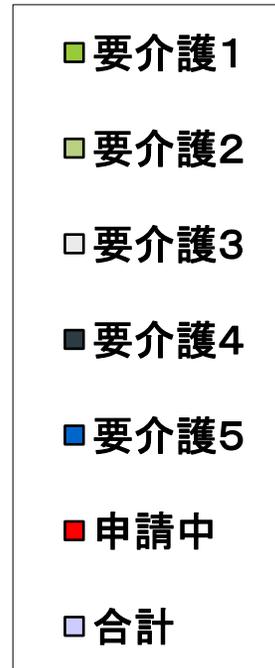
- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者紹介
- 活動報告
- 外部評価（事業所評価報告及び
外部評価意見交換）
- その他質疑応答・要望等

登録利用者数

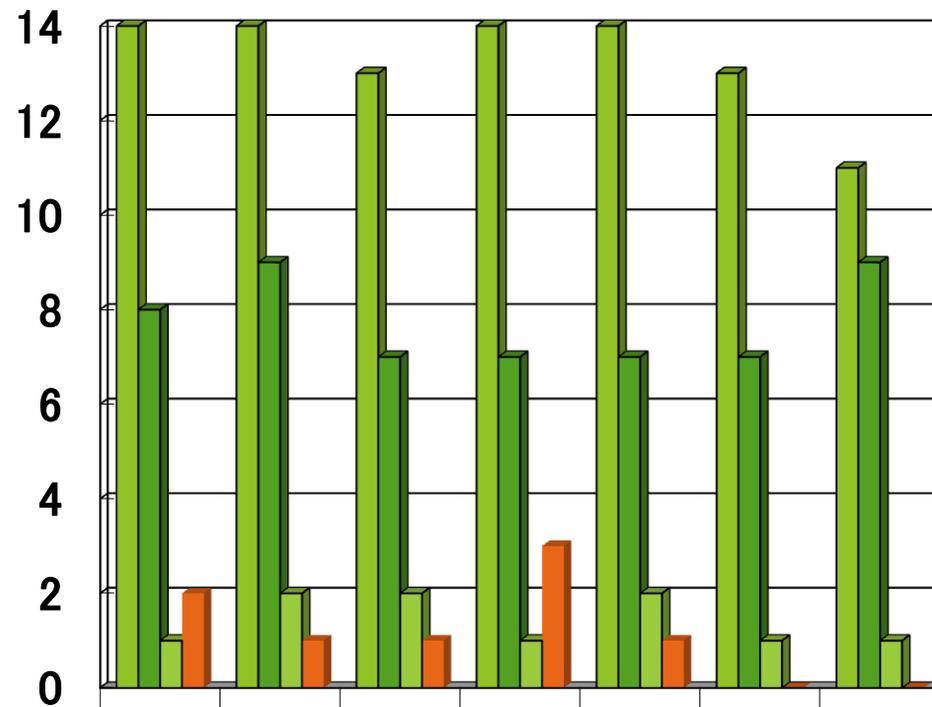
平成28年1月～平成28年3月



	1月	2月	3月
要介護1	1	1	1
要介護2	6	6	6
要介護3	4	4	4
要介護4	4	4	3
要介護5	6	6	6
申請中	0	0	0
合計	21	21	20



平成28年3月 曜日別利用者数



- 通い
- 泊まり
- 訪問
- 訪問看護

■ 通い	14	14	13	14	14	13	11
■ 泊まり	8	9	7	7	7	7	9
■ 訪問	1	2	2	1	2	1	1
■ 訪問看護	2	1	1	3	1	0	0

～活動報告～

2月 節分
バレンタイン

外部評価

外部評価

看護小規模多機能型居宅介護事業所は、運営推進会議をおおむね2月に1回以上開催することとされているがサービスの改善および質の向上を目的として、自ら提供するサービスについて評価・点検（自己評価）を行うとともに、自己評価結果について、運営推進会議等において第三者の観点からサービスの評価（外部評価）を1年に1回以上行う。

サービスの質の評価の客観性を高め、サービスに質の改善を図ることを目的とし、結果の公表を行うことが義務付けられおり、利用者に対するサービスの提供にあたり、職員に対し、十分意識付けを図ることが求められている。

外部評価

スタッフ個別評価



事業所自己評価



外部評価



評価の公表

- これまでの取り組みやかかわりを自らに向き合い、振り返ります。個人作業

- 各自が取り組んだ「スタッフ個別評価」を持ち寄り、全体で話し合い、それぞれの考えや実践、項目に関する捉え方の違いなどを話し合い、その中から改善の方策を考えます。事業所のコミュニケーションの場ともなります。

- 運営推進会議で話し合います。「できている」「できていない」という結果のみで判断するだけでなく、事業所が真摯に自らの取り組みを振り返り、質の向上を図っているか確認します。地域が日頃感じていることと事業者自身が考えることとの違いについて話しあい、事業所の課題や今後の方向を見出します。

外部評価のポイント

- ◆スタッフ全員が自らを振り返り、自己評価を行うこと（スタッフ個別評価）
- ◆スタッフ個別評価とともに、事業所全体で振り返り、話し合い、共有すること（事業所自己評価）
- ◆運営推進会議で、事業所自己評価の結果を報告し、かつ、地域からの意見を頂き、運営に反映させること
- ◆自己評価及び運営推進会議による評価を毎年繰り返しながら、質の向上を図っていくこと
 - ⇒ 評価をスタッフ全員で行い話し合うことでチーム作りになり、提供しているサービスの確認になる
 - ⇒ 地域の方々より事業所に対する理解が促進される
 - ⇒ 外部評価を行う運営推進会議に行政や地域包括支援センターが参加することで、理解が促進される

今後の予定

4月 お花見

第19回運営推進会議

開催日時：平成28年3月15日(火) 18:00~19:00

出席者：斎藤先生，看護小規模管理者・小林，総務・物江

地域包括センター・小石様，自治会長・寺尾様，民生委員・大嶋様

ご利用者ご家族・小林様，本間様，和田様，高橋様

1 斎藤先生より

サービス評価の外部評価、前回の続きを行います。地域密着型の事業所として、地域へ出て活動していく事が求められる内容となっています。全てをお世話するのではなく自宅へ帰って生活の動きができる様にやっていく必要があります。

るぴなすの小規模デイサービスは4月から地域密着型デイサービスに変わり、地域の方との会議が必要となり、地域へ出て交流を深めるように、と変わっていきます。

るぴなすは地域包括支援センターと連携し、介護・福祉の相談場所となり、クリニックは4月より医療・介護・福祉の問い合わせの場、生活の困ったことの問い合わせの場となります。きちんと運営されているかこの会議で確かめていく必要があります。デイサービスの会議は半年に1回なので共同開催させていただきますが、今後ともご協力をお願い致します。

1 現況報告

- ・現在登録 2月は21名, 3月は20名(1名入院のため)
- ・通い11~14名, 泊り7~9名。登録は25人まで可能だが、通い15名, 泊り9名の枠が毎日ほぼ満員であり、登録数を増やせない状態。
- ・訪問1~2名、訪問看護1~3名

3. 新規ご利用者紹介

4 活動報告

○行事, 日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告する。

- ・節分の行事では、ご利用者様に福豆の字を書いて頂いたり、鬼にぶつける球を作って頂きました。皆さんの為に丁寧に時を書いて頂き、力をこめて球を作り鬼に投げ、このように生活の中でリハビリが出来ています。
- ・バレンタインの行事では、ハートの折り紙に職員がメッセージを書き、チョコとお渡しし記念撮影をしました。
- ・ご利用者様にも、朝礼に参加して頂いています。
 - ・寒くて外に出掛けられませんが、屋内に花を持って来て見て楽しんで頂いています。

4 外部評価 (事業所評価報告及び、外部評価意見交換)

- ・前回の続き項目28より、評価項目, 事業所評価を順に説明し、質問や意見を募る。

項目

- (30) 医療的な部分は現状を医師、ご家族にお伝えし、指示を仰いで対応している。齋藤先生にはいつでも電話がつながり対応できている。『よくできている』が良い。
- (31) 運営推進会議では、地域の色々な事をお聞きでき、情報交換できているので、『よくできている』が良いと思う。
- (32) 運営推進会議の資料と議事録をホームページで公表しているのでご覧ください。外部へ情報発信し、地域で情報を共有する必要があるのでしょうか。
- (33) 自治会の会議やお茶会にデイルームを使用しており、齋藤先生からお話頂く事もある。毎年行われるお祭りも、啓発活動となっているのではないかと。『よくできている』が良いのではないかと。るぴなすの広報誌はあるが、写真が個人情報となる為外部には出せない。以前行っていたるぴなすカンファレンスを開催し、地域の方へも職員へも、地域包括ケアについて、小規模多機能の役割についての啓発を進めて行きたい。定期的にできると良いと考えている。
- (35) 看護師が24時間常駐している訳ではなく、看護師不在時は機械で痰を吸引する事はできないが、痰については水分摂取の調整、体の向き、口に中からスポンジで取り除く等、介護職員ができる範囲で対応しケアできている。介護職員がたん吸引する為の研修はあるが、一名が受けた所で対応しきれず、また研修には莫大な費用と時間がかかり、そのような研修を受ける事は難しい。

- ▶ <36>人工呼吸器を使用している神経難病の方の相談例は無い。在宅酸素を使用している方は二名いらっしゃる。
- ▶ <37>平成19年の開設から、これまで22名の看取りがあった。現在も危なそうな方でも丁寧なケアにより、口から栄養が摂れている。
- ▶ <38>新潟市の介護保険事業計画と地域包括ケアシステムについての資料を職員へ配布したが、勉強不足の状態。
- ▶ 斎藤先生より、るぴなすカンファレンスを開催し、地域包括ケアについて具体的な事を地域と職員へ教育していきたい。
- ▶ <39>質問：遠い方はどのくらいか→15分くらいの方もいるが、近くの方が多い。
- ▶ <40>地域支援事業、インフォーマルなサービスを地域の力を借りてやりましょう、ということでしょう。
- ▶ 行政は厳しいことを言うが、これらは『できている』で良いと思う。
- ▶ <41>るぴなすカンファレンスにて地域へ啓発活動ができると良いと考えている。ここに相談できる事業所になれると良い。クリニックは支援センターとなり、包括支援センターにつなぐ窓口になれると良い。

- ▶ <42> 目標に向けた個々の介護計画を実施し、毎月評価、見直しをしている。職員は計画を日々実践しており、具体的な項目でわかりやすい為、良い評価となっていると思う。
- ▶ <43> ご利用者ご家族よりコメント
 - ▶ ・父がいつもお世話になっており、母も息子の自分も安心していられる。（ご本人、帰宅を楽しみにされ張り合いになっていますので、今後ともご協力をお願いします。）
 - ▶ ・利用中どういう状況で過ごしているか書面や口頭で伝えて頂きわかりやすくて良い。（いつもご自宅での様子をお伝えいただきありがとうございます。）
 - ▶ ・自分達よりもスタッフから細かく気が付いてもらい対応してもらいありがたい。安心してお世話になっている。（外来受診や外出にご協力頂きありがとうございます）
- ▶ <44> 質問：現在看取りの可能性がある人はいますか。
 - ▶ → いらっしゃいます。在宅酸素をしている方も二名いらっしゃいます。
 - ▶
 - ▶
 - ▶
 - ▶ 今年度の外部評価は以上となります。これらをまとめてホームページ上で公表します。
 - ▶ 初めてでわからない部分が多かったと思いますが、ご協力ありがとうございました。
 - ▶ ここから出た課題を1年かけて取り組んで行きたいと思います。
 - ▶



ありがとうございました(*^_^*)